

この日、4年生の教室では、保護者の堀内さんが、レイフ・クリスチャンソンの『わたしのせいじゃない』と『わたしのせいじゃない』という絵本を読んでもくれたよ。「大勢でやったのよ。ひとりではとめられなかった。わたしのせいじゃないわ」ととても簡単な言葉だけで、深い深い内容のお話。堀内さんの周りに集まって静かに聞いていたお友達も、いろんなことを感じたり、考えたりしているみたいだったよ。



甲府市立琢美小学校 保護者
堀内 淳子 さん

どんな本を選ぶか、どんなふうに読むか、私なりに工夫をしながら、子どもたちとのコミュニケーションを楽しんでいます。

大勢の子の前で本を読むって、勇気がいるんです。最初の頃はドキドキして心臓が飛び出しそうでした。5年目を迎えた今は、子どもたちとの交流も広がり、読み聞かせの時間を楽しめるようになりました。子どもは正直で、反応も鋭いので、毎回何を读もうかと悩みます。興味を持たば怖いくらい食いついてきます。また、低学年の子にとっては読書への入り口になるだけに、責任も感じています。私の読み聞かせを通して、子どもたちの心の中に何かが残ってくれたらうれしいですね。



南部町立南部図書館
司書 若林由美子さん

ユニークな活動で読書を推進



1階に町立南部図書館、
2階は近藤浩一路記念美術館があるアルカディア文化館。



7か月検診でのブックスタート
赤ちゃんだって、絵本が大好き。

平成9年に開館した南部図書館では、二人でも多くの子どもたちに、本と出会い、その世界を楽しんで欲しいと、絵本や児童書を充実させています。7カ月検診の赤ちゃんに絵本をプレゼントするブックスタートや、読み聞かせ、おはなし会といったイベント活動も展開しています。おはなし会には、ボランティアの方々による読み聞かせや手遊



子どもたちが、いつも楽しみにしている、おはなし会。

びなどを目当てに、子どもたちがやってくる。もちろん、人気の絵本作家や劇団など多彩なゲストをお招きしての大きなイベントも大盛況ですよ。世界を広げ、人生を豊かにしてくれる読書。こうしたイベントが図書館に足を運びきっかけとなり、一人でも多くの子どもたちが本を好きになってくれたらいいなと思っています。



外観イメージ

平成24年秋 新しい県立図書館オープン!

3階建ての新しい図書館は、皆さんが楽しめる絵本や物語をたくさんそろえ、インターネットを利用できるパソコンもある使いやすい図書館です。

日光が強く当たる南と西の外壁に緑のカーテンを付けて、屋上には都道府県立図書館の中で、最大規模となる太陽光発電パネルを設置した、環境にやさしい図書館です。

【問い合わせ先】新図書館建設室 TEL055-223-1795
【ホームページ】<http://www.pref.yamanashi.jp/toshokan-ken/index.html>

本を読むって、 楽しいよ！

県内の小学校や図書館では、小さい頃から本を読む習慣を身に付けてもらうため、朝の読書や読み聞かせを行っているよ。本を読むと、知らなかった事を学ぶことはもちろん、豊かな心を育てるんだ。だから、読書することは、とっても大切なんだよね。平成24年秋には、甲府駅の北口に新しい県立図書館がオープンするよ。みんながゆっくと本を読むスペースや調べ物ができるコーナーも充実しているよ。楽しみに待っていてくださいね。



「読み聞かせ」の時間、みんな絵本にくぎ付けです。(甲府市立琢美小学校)



10分間の朝の読書に集中！



「さわやか読書」で 気持ちを切り替え、 一日がスタート

甲府市にある琢美小学校では、毎朝8時20分～30分を「さわやか読書」の時間と決め、児童も先生も読書を楽しんでいるんだ。だから、いつもはにぎやかな学校がこの時間だけはシーンと静かになるんだ。本は、図書館で借りたり、家から持ってきたりと、自分で用意しているんだって。物語、伝記、詩集など、好きな本を読んでいたよ。「本を読むとすごく楽しいし、勉強にもなる。家で、料理の本を見ながらお母さんと一緒に読むこともあるよ」。「前の日に友達とケンカしたり、朝お母さんに怒られたりしても、本を読むといやなことを全部忘れられるから、気持ち良く一日が始められる」って話してくれたよ。楽しそうな表情から、本が大好きっていう気持ちが伝わってきたよ。

読み聞かせで、 さらに広がる読書の世界

1年生から4年生の教室では、毎週火曜日と金曜日に、地域の方や保護者が来てくれて、本を読んでくれるんだ。「今回はどんなお話なんだろうって、毎回とっても楽しみ」という女の子や、「自分で読むのいいけど、読んでもらうと新しい発見があるよ」という男の子。みんな読み聞かせを楽しみにしているんだね。



「学校の図書室は、人気なんだよ」と声を揃える4年生の女の子たち

甲府市立琢美小学校
保坂 和彦 先生



「さわやか読書」は、
本校の特色ある教育。読み聞かせは、
保護者や地域の方に支えられています。

本校では、朝の読書の時間に教職員も一斉に読書をしたり、保護者や地域の方に協力いただいたの読み聞かせ活動を取り入れたりしながら、子どもたちが自然に読書に親しむ環境づくりに努めてきました。毎朝たった10分間ですが、子どもたちは、読書の楽しさを感じているようですし、読書することで気持ちを切り替え、落ち着いて授業を迎えることもできています。また、学年が上がるに従って、自主的に読書に取り組む姿勢も増えていきます。

こうした活動を通して、豊かな心が育まれ、創造性や社会性を身に付けるとともに、本を通して自分の生き方を見つめ、考えられるようになってくれたらと願っています。